



新年のごあいさつ 光風 春を動かす

長門市長 松林 正俊

2009年の輝かしい新春を迎え、市民の皆様にご挨拶申し上げます。また、平素から市政の推進に温かいご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、平成17年4月に、合併後の初代市長として市政運営を担わせていただきました。この4年間を振り返ってみますと、三位一体の改革など国・地方ともかつてない厳しい財政事情のもと、本市におきましても計画的な財政運営により、市民の一体感の醸成と地域の均衡ある発展のため、各地域の特性や資源を生かした特色あるまちづくりを進めてまいりました。

我が国の経済は引き続き厳しい状況が続いておりますが、本市では「六次産業が栄える

まち」を総合計画基本目標の一つに掲げ、1次・2次・3次産業を連携させながら、新たな産業の創造に取り組んでまいりました。また、ケーブルテレビ整備、下水道・集落排水整備など生活環境整備をはじめ、水道料金の統一や湯本温泉源泉配湯事業などを実施し、山陰自動車道長門・下関間の早期着手に向けた取り組みなども進めてまいりました。

さらに、市民の皆様のご協力をいただき、ながとお魚まつり、みず々燦・参・SUN、やきとりセカチョー、みず々潮彩運行に伴うおもてなし、体験型修学旅行の受け入れや子ども農山漁村交流プロジェクトなどに取り組んでまいりました。そのなかで、市民の皆様と行政が協働でまちづくり

を進めることが何よりも大切であると、実感したところでもあります。

2年後の平成23年には山口国体が開催され、本市でも「空手道」や「少年ラグビー」「自転車ロードレース」、デモンストラレーションとしての「シーカヤック」などが開催されますが、皆様の「市民力」をおもてなし力により、山口国体を是非、成功させたいと思っております。

このほど、新たに発見された小惑星のひとつに「金子みすゞ」さんの名前がつけられました。本市では、これからの金子みすゞさんのやさしいまなざしを教育に取り入れながら、豊かな心を持つ子どもたちを育てる環境づくりにも取り組んでまいります。

本市は、金子みすゞ、香月泰男、くじら文化、青海島、棚田、長門温泉郷五名湯など多くの地域資源に恵まれています。これらの地域資源を観光や6次産業に活かし、地域活性化につなげる視点で諸施策を進めてまいります。

今年が丑年であります。しっかりと地に足をつけて着々と前進したいと思っております。

本年におきましても、行政運営の一層の簡素化・効率化を図りながら、「豊饒の海と大地に笑顔行き交う未来のまち」実現のため、各施策に全力で取り組んでまいります。

おわりに、どうか、この一年が市民の皆様方にとって、素晴らしい年となりますよう祈念いたしまして年頭のごあいさついたします。



新年のごあいさつ いや重け吉事

長門市議会議長 南野 京右

新しき年の始めの初春の
今日降る雪のいや重け吉事
大伴家持

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新「長門市」が誕生して3月には丸4年を迎え、今年には、市長及び市議会議員選挙の年でございます。

日本の国の「かたち」を再構築するため、「規制緩和」や「地方分権」が進められ、競争原理の導入や自己決定・自己責任の確立が求められてまいりました。大きな景気の変動や社会格差の顕在化等の新たな問題も発生しております。

振り返れば、そのような中

で、地域で活動いたしております

まず私たち市議会議員は、合併後の4年間で、新しい市の「かたち」をつくるための様々な改革に対して、真摯で活発な議論を交わしてきたところがあります。行政組織の課題では、総合支所から支所への組織改編、様々な市施設における指定管理者制度の導入、また、市民負担の平準化の課題では、水道料金等の統一など、困難で時間のかかる多くの課題について、市民の皆様の声を行政に反映すべく、議会の場で大いに議論をしてまいりました。

昨年9月には「捕鯨とくじら食文化を守る長門市議会議員連盟」が発足し、くじら食文化の振興や持続的捕鯨の再開をめざし、活動を始めました。また、議会議員自身の改革

につきましても、今年の改選

時での議員定数を30人から20人へと、大幅に削減する議員定数条例の制定を始めとしたしまして、市議会議員政治倫理条例の制定と改正など継続的に取り組んでいるところでございます。そのほかにも、今日の課題につきましても、市民の皆様とともに学ぶ場とするため、市議会議員研修会を一般開放して開催するなど本市議会独自の取り組みや活動も積極的に進めてまいりました。

不安定な世界の経済状況の中で、地方分権改革の推進により、地方自治体の自己決定・自己責任の範囲はますます拡大し、議会の持つ議決・監視機能の果たすべき役割が、これまで以上に重要になっていくものと考えられます。我々市議会は、これからの

市民の皆様への負託と期待に応えられるよう議会改革に積極的に取り組むことはもちろんのこと、市議会議員自身も、これまで以上に自己研鑽・自己啓発に努めていかなければならないと認識しております。

小さいからこそ実現できる「顔の見える自治」を実践していくために、「市民に開かれた議会」、「市民を代表して討論する議会」、「市民とともに行動する議会」を旨として、本年も引き続き全力で取り組んでまいります。

市民の皆様におかれましては、本年も市議会に對しまして、引き続き、ご支援、ご協力をいただきますよう心からお願いいたしますとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。